

# 神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第126号(通算)

令和5年11月17日(金)発行

11月3日に大学の同級生(理学部数学科)が集まりました。ほぼ38年振りだったり、時々顔を合わせている者もいましたが、一堂に会すると気分は大学一年(18歳)の頃にタイムスリップしたようでした。一緒に勉強したり、遊んだ仲間との再会はとても楽しいひとときでした。今は、ほとんどが県外居住で、また次回も会おうと約束し、その瞬間から次の再会を待ち遠しく感じています。高校の同級生との再会でも同じような感じがします。皆さんが高校時代にタイムスリップするような感覚を得られるのは、いつのことでしょう？



## 秋を探索しよう

令和5年11月



33km遠行の時にも、コース沿いのあちこちに秋を発見しました。可愛らしい【そばの花】も少しずつ実を付け始めていました。ところ変われば、秋なのに向日葵の大輪が咲いており吃驚します。大久保地区や神殿インターの近くにはコスモスと向日葵が共演しています。



# 学 年 朝 礼

令和5年11月6日(月)

【1年生】 中原先生のお話し



「リフレーミング」とは、物事の捉え方を変えるテクニックのひとつです。リフレーミングを活用すると、ネガティブな思考をポジティブな思考に変えて前向きになれるり、別の視点から捉えることで問題を解決するためのアイデアが浮かんだりします。普段からリフレーミングを活用した思考の練習をしておく、悩みがあるときも前向きに考えられるようになります。保健室前の掲示板に練習法をいくつか紹介するので、立ち寄ってみてください。



【2年生】 森園先生のお話し



卒業された先輩方は本校で素敵な時間を過ごされたことが、多くの記念樹や2棟の記念館から伝わってきます。

将来、皆さんが充実していたなと感じるには、先日校長講話の中にあつた「時を守ること」が大事になってくると思っています。

1日の時間配分について、余裕をもって計画し、行動してみましょう。起床、朝自習や授業、掃除、部活、勉強、睡眠の時間をルーティン化すると、自分の日常ができてきます。時間に余裕がもてると、人の行動や気持ちにも気づくことでしょう。1か月後の修学旅行、時を守って、楽しい思い出となりますように。

【3年生】 高山先生のお話し



既に受験が終わり決定した生徒たちは、基礎学力をしっかりと身につけて卒業しよう。今から受験を迎える生徒たちは、最後まで諦めずに頑張ろう。

風などない状況で、積み木をきちんと正確に積み上げていけばずっと積み木を積み上げられる。勉強も一緒に基礎基本をきちんと積み上げることによって、応用もできるようになる。基礎基本が分かればある程度までは選択肢を絞ることができる。

## 【かわなべ磨崖仏祭りwith農業祭】

令和5年11月12日(日)



岩屋公園で磨崖仏まつりが開催され、書道部パフォーマンスや玉入れに、PTAチームが出場しました。生徒たち

も沢山ボランティアとして参加していました。